
麻生リトル・ラグーマン



神奈川県川崎市

麻生ラグビースクール

県大会総括

副校長兼幼稚園コーチ 古田 十

秋も深まり県大会の全日程を終え、などと書き出している今は年も暮れようとして私は忘年会シーズンに胃を労わる日々が始まっています。

恒例の県大会の打ち上げにほぼ参加させていただき、子供達・ご父兄・コーチのみなさんのそれぞれの県大会の想いを聞かせていただきました。

それぞれの学年のコーチ・選手は十分な準備で臨んだでしょうか？そしてその結果は十分得られたでしょうか？

勝って得ることより負けて得ることのほうが多いと、私は発言したことがあります。一方でそれはただの負け惜しみであって、やはり私たちがしていることは単なる習い事ではなく、スポーツ（＝勝負）なのであって勝ってナンボだとも思います。

ラグビーでの「全身全霊」をとおして様々な思いを得ることがスクールでの一つの成果であり、これによって子供だけでなくコーチも成長を促されるのではないかと思います。

3年生、4年生全勝優勝おめでとう！来年も大活躍を期待しています。

5年生はすぐに6年生です。下級生に恥ずかしくない態度で最終学年を迎える準備を始めてください。

6年生は幸いファイナルカップがあります。最後の大会で悔いのない健闘を祈ります。

スクールでは新年の餅つき大会から新年度に入ります。

コーチ・選手一同新たな気持ちで新年を迎えましょう！

県大会を終えて

中学年技術指導 米元 勇一郎

3年生、4年生のみんな、全勝優勝おめでとう！！コーチとしては優勝という結果と共に、春からやってきた練習の成果が少しずつ試合で発揮されるようになったことが嬉しいです。

パスをする回数も増えたとし、自分が持ち込んだボールを味方に繋ごうというプレーもたくさん見ることが出来ました。タックルに関しては少しは成果が出たかなと思う一方、また手で捕まえにくい悪い癖も出てきていました。

今後も継続してやっていく必要性も感じましたし、アタックに関しては少しレベルを上げて、色々悩みながら吸収してもらえたらと思います。

また、今大会では逆転勝ちや競った試合を勝つ事が出来ました。今までだったらリードされると落ち込む癖がありましたが、気持ちの部分でも成長を感じられました。今後も「技術」と「メンタル」両方を成長させていく助けが出来ればと思います。私も成長しなければ・・・。

来年も優勝しようね！！

県大会を終えて

高学年技術指導 上田 博朗

5、6年生の皆さん県大会お疲れ様でした。5年生のみんなは優勝までもう一歩というところでしたね。横須賀相手に悔しい思いをしたと思いますが、ギオンでの最終戦は練習の入り方から、ゲームでの気持ちの継続までとても素晴らしい内容でした。

唯一の1敗は「来年へのリベンジ」と受け止めて頑張っていきましょう。来年はいよいよ最終学年となります。年明けから猛烈なスタートダッシュを切ってキャノンカップ、リコーカップ、県大会、ファイナルカップと初の4冠目指して取り組んでほしいと思います。ラグビー愛の深いみんななら決して叶わない目標ではないと思います。

6年生のみんなも結果としては満足のいくものにはありませんでしたね。しかし、2年前の銀次のお兄さんたちの世代も同じように県大会では悔しい思いをしました。そこからファイナルカップまで急速に成長を遂げ、カップ戦で準決勝まで駒を進め、ベスト4という素晴らしい結果を出した実績もあります。残りの2か月で充分成長は可能です。これからはファイナルカップ向けのメニューもどんどん取り入れていきますので、残り少ない麻生でのスクール生活を悔いの無いように過ごしてください。

最後に、受験に取り組んでいるみんな。つらい時期に差し掛かりましたがもう少しの辛抱です。今の目標にしっかり向き合って、終わった際には、元気な姿でグラウンドに戻ってきてください。過酷なフィットネスメニューを用意して待ってます。

はじめに

平成17年、思い立って“ミニ・ラグビーのレフリング”を書いてみました。

わずか10ページほどのものです。

これを書いているうちに、当スクールのレフリーの養成に使えるような気がしました。

そこでレフリー勉強会を立ち上げたのです。レフリーとして必要な知識、ルール・レフリングなどを座学のかたちで教えることにしたのです。教えるとはおこがましいと思いましたが、後に思い知らされました。レフリー勉強会といわず、単に“勉強会”としたのです。

当時、練習場所は王禅寺小が主たるところでした。

場所は近くにあるユリストアの敷地にある町会会館です。大体、2ヶ月に1度くらいでした。

メンバーは、重住さん、川越さん、加藤さん、安井絹子さん、あとは残念ながら思い出せません。

多くて10人くらい。たいていは5, 6人でした。

話題はコーチングのあり方、子供への接し方など広がりました。

注

当時、CS委員だったので仲間の伊藤敦さん（海老名RS）に依頼され、なにか資料は無いかと言われ“ミニ・ラグビーのレフリング”を渡しました。

翌年、2006年に“ミニ・ラグビーのレフリングをしよう”というパンフレッドがスクール委員会・コーチソサエティ部会から発行されました。編集後記で私への謝がのっています。

勉強会ではレフリング・ルール等に関して練習問題を出しました。

ルールブックにのっていない問題も出ています。100点をとった人はいませんでした。

例えば

ルール問題（3）－5 ミニラグビーではインジャリータイムはない。

正解は「ない」です。

この勉強会でコーチングについて話題が多くでしたが、それを参考に平成19年に“ミニ・ラグビーのコーチング”という資料を作りました。

以上のものは、麻生ラグビースクールのホームページにのっています。

できるだけ、以上の資料にはさわらないようにしますが、どうしても重複するのはご容赦願います。

神奈川DAGS



県大会 A チームメンバー

県大会を終えて

DAGSコーチ 曾我 浩

今年のDAGSのAチームは、目標を全勝優勝に掲げていましたが、終盤ケガ人も増え、残念ながら同率3位の成績でした。

Cチームは、いつもぎりぎりの人数でしたが、ファイナルカップ優勝の鎌倉、田園に勝つことができました。

これからの新Aチームに向けて、3月までは、基礎練習を中心に、けがをしない体づくりをします。

また、やらされる練習でなく、グラウンドに入ったら、自分の目標をしっかりと持って取り組んでもらいたいと思います。

年末年始は、花園で麻生OBが活躍してくれることと思います。DAGSのOBも夏合宿や日頃の練習も面倒を見に来てくれます。

このようなつながりを大切にして、DAGSに入ってくる麻生の子供たちを、大きなケガをさせないで高校までラグビーを続けられるように、練習は厳しく、それ以外の時間は楽しくやっていきたいと思えます。

新Aチームは、海老原翔空キャプテンのもと、一丸となってがんばります。

引き続き、ご支援よろしく申し上げます。

県大会を終えて

DAGS3年 伊藤大吉

春の大会でとても悔しい思いをして、この大会に向けて個人のフィジカルを延ばし、チームとしての戦略や目的を統一するため厳しい練習に取り組んできました。

結果は、満足のいくものではありませんでしたが、存分に楽しんでラグビーが出来たので良かったです。

来年は、今年以上の結果を目指して頑張ってください。

県大会を終えて

DAGS3年 萩原 睦

今回の県大会は3位決定戦を同点で終えて終了しました。
今回は全ての試合に出ることができて、とてもうれしかったです。
でも出ただけではなく、チームが勝てるような働きをしないとイケません。何試合かは貢献できたけど、あまりできなかった試合もあったので反省したいです。
今年が最後だったので、この反省やこれまで学んだことを高校で生かしたいです。

県大会を終えて

DAGS3年 中司 大也

今回の僕の課題は、①自分のポジションであるSOの役割を果たす事、②試合中のミス素早く修正する事
でした。
BKに的確な指示は出せたと思うが、BKの中心となりチームを引っ張っていく事はなかなか出来なかった。
ミスを修正すると言う点では、過去の試合の中でこの県大会が一番発揮できたと思う。
今までは試合中同じミスを繰り返していたが、みんなで声を出しあい、話し合いどうすべきか、結論を出して修正する事ができた。
まだまだ課題はあるのでこれからも一生懸命頑張っていきたい。

県大会を終えて

DAGS2年 齋藤裕太

県大会が終わり、中学校でのラグビーも終わった。
最後まで横浜や田園には勝てなかったけど、この3年間を通して、技術面でも精神面でも成長でき、楽しかったし大切なものを得られたと思う。
この経験を生かし、高校でもラグビーを続けて行きたいと思う。

県大会を終えて

DAGS2年 齋藤裕人

2年生ではあまり試合に出られなかったので、3年生では試合に出てしっかりと自分の仕事をしたいと思っています。それと、メンタルと体を強くしたいです。

県大会を終えて

DAGS2年 古田 空

今年は二年生になり、三年生の試合に出る可能性が高くなりそれと同時に一試合一試合の自分の動きや、ライバルであるはずの動きを去年よりも意識するようになっていきました。
それのおかげもあって自分には欠点ばかりであることを改めて再確認することができました。
自分の中で一番印象に残っている試合は最後の藤沢戦です。前半を負けて折り返したものの、後半、チームの全員が是が非でも勝ちたいという気持ちで追い上げることができたからです。4月から自分たちの代になりますが、最後の藤沢戦のような気持ちをもって試合をしたいです。また、キャプテンのとあにやらせるのではなくみんなで支えていけるようなチームになりたいです。

6年生



(左上) 神下弘太朗、村松京弥、久松豊夢、原田太陽、池田昂生、小高佑、坂脇優来
(左下) 宮澤樹、小崎陽太、海老原銀次、森天、萩原起、京屋光琉
※県大会参加者のみ

最後の県大会

6年生 チーフコーチ 濱田 正行

上の写真は県大会最終戦後の写真です。残念ながら試合に敗れ、元気が無い中での撮影となりました。

今年、6年生の県大会はAグループで1勝3敗という結果で終了しました。

夏合宿では校長主導での気持ちの入った練習も出来、声も少しずつ出るようになってきました。チームも良い状態で進んで行き、9月の多摩RSとの交流戦では初めて勝利する事も出来ました。その後は受験組の不参加が多くなり、残念ながら県大会前の練習試合では8名の参加となり、初めて5年生からメンバーを借りて試合する事態にもなりました。

県大会期間中もギリギリの人数での試合が続き、主要ポジションの交代要員が居ない場合が多く、ヒヤヒヤする状態でした。続けてキャプテン銀次の骨折もあり、後半戦も更に厳しい状態となりました。しかし、チームはその中でも徐々に良いプレイも増えてきて、声も出せるようになってきたようです。後半の試合ではトライ後に集まって話し合う場面も見られ、自分達で修正しながら試合を進めようと言う意識も感じられました。

まだ、プレイでは他チームに比べて未熟な点が多く、修正が必要ですが最後の試合までには時間があるので少しでもレベルを上げて望みたいと思います。

ファイナルカップは受験組も戻る所以メンバー全員で悔いのない試合を行いますので皆さん応援をお願い致します！

最後の県大会を終えて

6年生サブチーフ 齋川 宏

ミニ合宿夜のミーティングでの県大会の目標は、3勝して優勝！

結果は1勝3敗でした。

勝敗だけを見れば満足できる結果ではありませんでしたが、一つひとつの試合内容は悪くありませんでした。君たちは間違いなく成長しています。但し、対戦相手も同じく成長しています。これからは絶対的な成長は勿論ですが、如何に相対的な成長の幅を広げるかが、ファイナルカップに向けての重要課題です。

第1戦：横浜 A_RS＝正直、力の差はありました。点差も開きましたが、良く喰らい付いていました。惜しむらくは銀次の途中退場です。

第2戦：海老名 RS＝最後は良く逆転しました。ラストワンプレイの左ラインから右ラインへチェンジしたコミュニケーションは見事です。コーチは逆転できると信じていました。

第3戦：横須賀 A_RS＝去年の大敗が嘘のような互角に近い内容でした。勝てなかったのは同じパターンでトライを取られ過ぎたからです。この辺りが君たちの甘さであり、コーチングの課題だと思います。

第4戦：藤沢 A_RS＝勝ちたかったし勝たなければいけないゲームでした。終盤での一人ひとりの集中力が試された様な相手の決勝トライでした。

銀次：君に贈るべき言葉はただ一つ、いつもありがとう。

天：君の前への推進力はチームの力であり希望です。

光流：君の忠実なサポートはボールを獲得する為の重要な核です。

昂生：君の突破力は今ではチームの柱です。

起：君の落ち着きがチームを安定させています。

樹：君のオールマイティなプレイにチームは助けられています。

弘太郎：麻生一の元気印。君のラインブレイクはチームに欠かせません。

太陽：君の小気味の良いランニングはチームを勝利に導きます。

佑：君の身体能力は誰もが認めています。まだまだ出来ます。

豊夢：君の走りには力があります。もっともっと自由に走って下さい。

陽太：小さくとも君のガッツとスピードは充分通じています。

京弥：君が最後尾にいるので、皆は安心して前を向いてプレイできます。

正剛、光平、茉奈実、昂輝、知己、優来、快みんな体調崩すなよ。

ファイナルカップは麻生6年生の総合力で勝負しようぜい。

県大会の感想とファイナルカップに向けて

6年コーチ 加賀 司

6年生のみんな、県大会の感想はどうでしたか。

昨年までの2チームから1チームとなり、それでもぎりぎりのメンバーで臨んだ県大会。まだまだ勝ちたいと言う気持ちがプレー全体に表れていなかったのではないかな。

「ブレイク」、「おれに寄せせ」、「もっと上がれ」、「ノーハーフ」、「ノースタンド」、「マイボール」、「ヤンボー」、などなど色々な声掛けの言葉があるぞ。声掛けが少ない、声が小さい、もっと、もっとと恥ずかしがらないで、自分の気持ちを直接声にしてみたら？

では、みんなからの声が聞こえたら、君はどうする？

ブレイク⇒スクラムならすぐにボールの方へ向かう。

おれに寄せせ⇒そいつの後をすぐにフォローして「右についているぞ」。と言って自分も次のパスをもらう。

もっと上がれ⇒「ラインあがったよ」、「相手もみたよ」、上がっていないのが見えたら「もっと上が

れ」

ノーハーフ⇒原則スタンドだが、いなければ一番近い人がすぐにモール・ラックに行く。

ノースタンド⇒原則センターだが、一番近い人がすぐにモール・ラックに行きながら、攻撃の指示を出す。

マイボール⇒バックスはスタンドの指示を待たずにすぐにアタックの位置に下がる。

ヤンボー⇒バックスはスタンドの指示を待たずにすぐにディフェンスラインまで上がる。

でかい声で声掛けし、みんながそれに併せて行動し、次の声掛けをすればどうなる？

次はこのメンバーで戦える小学生最後の試合です。悔いを残さないように全力でプレーして、ラグビーのゲームを楽しんでください。コーチたちはゲームができません。だからコーチの思いも一緒……。

それにしても、前半の劣勢を見事に挽回して大逆転勝利した海老名戦は素晴らしかったよ。涙……！

最後の県大会

6年コーチ 井上 正敏

最後の県大会、結果は1勝3敗の悔しい結果でした。只、Aブロックの強豪相手の中、ゲーム内容は夏合宿前と比べものにならないくらい素晴らしいものでした。夏合宿から県大会終了まで、君たちはすごいスピードで成長していったとコーチは感じています。

ファイナルカップまであと3か月。君たちはまだまだ強くなる。県大会の悔しさをばねに、練習でも、試合でも全力を出し切ろう。ファイナルカップでの勝利に向けて最後まであきらめず戦っていきましょう。

県大会

6年 キャプテン 海老原 銀次

ぼくは、けがをしてしまい、二回しか県大会の試合にでれなくて、練習も全然でれなくて、とてもくやしかった。

一回戦目では、でかい奴に向かって行けたけれど低いタックルができなかったのでファイナルカップでは、どんな相手でも低いタックルにいきたいです！

県大会

6年 バイスキャプテン 森 天

県大会が終わって、僕は直そうと思ったところが2つあります。

1つ目は、自分でボールを持って当たりに行くときに一人で当たっているところです。

理由は、一人で当たって、倒れられて、ジャッカルをされるのが何回かあったからです。

2つ目は、試合前にきちんと気持ちを作ることです。

県大会では、強い相手とわかっていること絶対に勝つ！！ という気持ちが作れないことがあったから、相手がどんなチームでも「絶対に勝つ！！」という気持ちで試合をすることです。

この2つをきちんと修正して、ファイナルカップに臨みます。



県大会の反省

6年 宮澤 樹

今年の県大会は、反省点があったので、全て改善できるようにしたいです。1つ目は、キックオフのキックです。ノット5mになったことがたくさんあったので、直していき、ファイナルカップでは狙った所に蹴れるようにしたいです。そのためには、たくさん練習することが大切だと思います。

2つ目は、声です。最後までサイン以外の支持の声が全然出せていなかったと思いました。なのでラインメイクなどの声をしっかり出していきたいです。タックルは、入れるようになったとは思いますが、まだ外すこともあるので、そこも直していきたいです。あと、ふつうにパスばかりせず、自分で入ったりクロスや飛ばしもやっていきたいです。それからフォローを速くして、すぐにボールを出すことも大切だと思います。今年は練習でやっていることがあまり試合で出せていないと思います。練習でやったことができていれば、勝てた試合もあったと思いました。ファイナルカップでは全てを出し切り、どんな相手にも勝って、優勝したいと思いました。

県大会を終えて

6年 小高 佑

県大会での自分のプレイを見て、まだまだあまいなと思いました。例えばタックルは自分でも高く感じています。声も自分のなかで思いついてきません。なので自分でも練習には全力でがんばり、練習の成果をファイナルカップにぶつけたいです。なのでコーチの方々もご指導のほうよろしくお願ひします。

県大会

6年生 京屋 光琉

今回の県大会で、自分ができるようになったと思うのはフォローです。抜けていった仲間はどうすればいいのか、ラインアウトの時の判断などがすぐにできるようになったと思う。あまり勝てなかったけど、振り返ってみれば県大会で成長したところはあった。反省点としては、試合中の声掛けが少なかった。プレー中にもっと声をかけあえばよかった。ファイナルカップでは、もっとみんなで声を出してプレーしたい。

県大会

6年生 神下 弘太郎

今年是最後の県大会だった。ファイナルカップがあると言ってもその事実是不変変わらない。そしてその県大会の感想は「悔しい」ま、四試合の中で圧倒された試合は一試合のみだったし、言い訳しようと思えばいくらでも。なのだが、圧倒されなかったのに二敗した。それは、技術的な面もあるだろうが、精神面で、「勝ちたい」とか「ここまでやったんだから勝てる」という気持ちが足りてなかったのだと思う。6年のファイナルカップで、負けることはあっても「後悔」だけはしたくない。だから、自分の中でしっかりと精神的支柱を形作って行きたい。

県大会を通して

6年生 萩原 起

県大会の結果は1勝3敗でした。今回の県大会はすごくざんねんでした。今回の目標だった「声を出す」はできたところもあったけど、ゴール近くのモールへの呼びかけや1人1人に出す指示がうまく出来ませんでした。2月にはファイナルカップがあるので、そこではみんなに指示を出したいと思います。他にこの県大会で1番残念だったのは、ふじさわ戦で仲間がトライをしたと思ったら、実はトライじ

やなくて、そこで相手にボールをとられてしまった場面がありました。
その時ぼくは近くにおいて「やった」と思ったら相手にとられてしまいました。
その時ぼくがトライできてないということに気づいていれば、相手にとられずにトライをとることができたので、それに気づけなかったのがすごくさんねんです。

課題が残る県大会

6年 原田 太陽

今年の県大会は思うように走らせてもらえずに相手に止められた。相手に止められた後、ボールをうばわれずに仲間に関わりなくすることはできたと思うが、それでは満足できなかった。

もっと声をかけてコミュニケーションをしていれば、もう少し早くボールをもらえて、相手をステップでかわすこともできたはずだ。

ファイナルカップでは、もっと声を出して積極的にボールにはたらきかけたい。もしも走れなかったとしても、くやしい思いを残さないよう全力で頑張りたい。そして、自分自身が満足のいくプレイをしたい。

県大会

6年 久松 豊夢

県大会はなるべく走ってくる敵を止めるという事を頑張りました。
ラインを引くのに遅れて敵に走られてトライされたところがあったから気をつけようと思いました。
県大会、負けたけど楽しくラグビーが出来たし少しでも止められたのでよかったです。

県大会反省

6年生 池田 昂生

悪かったこと

2人目につくのが遅かった、手で行ってた、パスがすぐ出せなかった、声出しと気合が足りなかった
良かったこと

いろんなチームと戦って自分たちの欠点を知った

ファイナルカップ、絶対勝つぞ！

県大会

6年 坂脇 優来

今年の県大会には私は、一度しか出ることができませんでした。全然県大会に参加することができなくて、チームのみんなには申し訳ないと感じるのですが、参加することができたその一回を無駄にせず、がんばれたと思います。とても楽しい試合でした。

これからもしばらくラグビーの練習にはなかなかでることができないと思います。でも、出られる時にはしっかりと声を出し、タックルやパスの練習をしたいです。試合の時に見ていて気付いたのですが、チームの全員が声を出しているという感じがあまりなく、出す人は出すけれど、出さない人は出していないという感じがしました。私はやはりチーム全員が声を出している方がいいと思います。返事を返したり、返さなかったりと波があるので、そこに気を付けていけたらいいと思いました。

初めての県大会

6年 小崎 陽太

ぼくは麻生ラグビースクールにかよって初めて県大会に出ました。
県大会ではあまり練習ができていなくて、いい結果を出せませんでした。
なので次ある大会ではもっと練習をしていい結果をのこせるようにしたいです。

最後の県大会

6年 神下 弘太郎の父

4年間の練習の積み重ねで、遂に強いチームとも試合が出来るまでになりました。大逆転勝ちの喜びを自分たちで勝ち取った試合では、感動をくれてありがとう。最終的にもう少し結果が出れば良かったけど、本当に悔しいのは6年生の本人達と成長を支えていただいたコーチたちだと思います。「もっと自分たちで考える」の意味をチームの仲間で話し合っ、県大会で味わった喜びと悔しさを次につなげて強く育ってください。

県大会

6年 池田 昂生の母

勝った試合の帰りの車中は明るいですが、負けた試合は...
こうき「今日の試合さ、俺のミスで負けたよ」
（母：うっ、息子よ... (泣)）
きょうや「いや、あれはお前のせいじゃない。その前で止められなかったからみんなのミスだよ」
（母：うっ... これぞ One for all. All for one!!! (泣)）
結果は残念でしたが、いい仲間達に恵まれてこうきはすくすく成長中です。

6年生チームの皆様

6年 森 天の父 (敦)

県大会でも、もろもろお世話になりました。ありがとうございます。
6年生のみなさん、試合お疲れ様でした。
戦績としては、もどかしい面もありますが、「これもまた成長の糧としてくれれば...」とプラス面に捉えたいと思います。
夏合宿での成長が、とてもうれしく頼もしく見えた反動のせいか、最近、自分の子供に対しては、ちょっと物足りなく感じてしまって、「まだ行けるだろう!!」「もっと強い気持ちで試合しろ!!」等、強く当たってしまうときもあるのですが、息子に対する期待の大きさの表れだと感じてくれれば...、と思っています。(反抗期でもあり、なかなか難しいのですが)
「気持ちで、相手にも自分にも勝つ」、「勝つために考える、工夫する」、「イメージしたプレイができるよう日々努力する」等、得たい結果を手に入れるためには、どんな努力が必要なのか?を考え、実践する習慣を身に着け、自信を持ってファイナルカップの臨んでほしいです。



5年生



県大会を終えて

5年チーフコーチ 伊藤 信一

5年生メンバー、ご父兄・コーチ、関係者皆さん、県大会お疲れ様で御座いました。今年の県大会の結果としましてはCブロックでの対戦で3勝1敗。目標の県大会ブロック優勝には一歩及びませんでしたけども、この1年間取り組んできた内容が県大会を通じて精度をあげられ、チームとしても強くなって来た事を実感できる県大会でした。タイミング的にもRWCでの日本代表の活躍もあり、より一層盛り上がりましたね。

昨年の県大会での反省にもありました闘う気持ちと、これまでの課題としてきたここ一番での気持ちの切り替え、集中力が付いて来た事が今県大会での成果でありました。そして一人ひとりの個から、チーム・仲間の為というプレーが見られる様になってきた事、キャプテンを中心にメンバー同士で話し合いをし、コミュニケーションをとりながらチームとして纏まって来た事も大きな成長であったと思います。

そして何よりも子供達のサポートを、ご父兄、コーチで一緒になって取り組み、一体感を感じることができ、皆さんで感動を共有できたのが素晴らしかったですね。

さあ、来年からは麻生ラグビースクールの最高学年である6年生になります。最後の1年間、最高の感動を共有できるよう取り組んで行きたいと思います。皆さん引き続きサポートのほど宜しくお願いいたします。

2015年度公式戦を終わって

5年コーチ 竹川

いつも大変お世話になります、5年生コーチの竹川です。

今年の県大会が終了いたしました。今年は3勝1敗。結果としては、満足しておりません。子供達も

そうだと思います。。(かな?) しながら、素晴らしい試合内容もあり、本当に子供たちの成長を見ることができました。コーチもうれしく思います。

高学年ともなると一年の目標となるものが明確にあります。今年の5年生は、『チームディフェンス』と『0(ゼロ)パターン』の徹底でした。『チームディフェンス』は、昨年と比べ随分出来るようになりました。(本当です) まだ本能で動く子もおりますが、皆が“規律”を守れるようになりチームとして機能しておりました。素晴らしい成長です。また、相手が大きかろうが怖がらずガンガンいく“ガッツ”に、目頭が熱くなることもありました。本当に凄いです。

『0(ゼロ)パターン』とは、タッチラインのギリギリまで、正に0メートルまで同じサイドを攻撃するという日本代表が使う戦術の一つで、とてもシンプルで子供たちにとっても理解しやすいと思い、夏合宿から教え込みました。この戦術も子供達に随分と浸透し、県大会の試合中も大きな声で、『ゼロ、ゼロ』と叫んでいます。これまた素晴らしい成長でした。

実はこの戦術は、来年の6年生県大会に向けての布石です。この戦術をしばらく徹底することで他のチームに覚えさせ、来年の夏以降、ガラッと戦術を180度変えることで、相手を翻弄したいと企んでおります。。楽しみにしてください。。。。。。

県大会を終わって

5年コーチ 武井 智之

5年生としての県大会が終わった。結果は惜しくも優勝は逃したものの、最終戦はみんなが目指しているラグビーにかなり近づいたように思う。一人ひとりが自分のやるべきことをやった結果であり、全員でやりきれば勝てることを証明した試合であったと思う。来年は小学校での最終学年です。優勝するための努力を精一杯して準備しましょう。そして、全てを出し切り、うれし涙を流しましょう。

目指した形(かたち)に近づいた県大会

5年コーチ 外岡 幸隆

夏合宿以降、同じサイド(順目)に攻め続ける「ゼロ パターン」に加え、2次攻撃で、FWが型=「シェイプ」を作り、タテ突破を図る攻撃を加え、県大会に臨みました。1、2戦目は、選手たちの意識がうすく不発でしたが、3、4戦目には、徐々に「かたち」が出来、勝利につながりました。

また3戦目の藤沢B戦は、実力が拮抗(きっこう)していて、厳しいゲームでしたが、「戦う気持ち」を最後まで切らさず、最後は突きはなして、勝利をモノにしました。当学年の成長を感じるベストゲームでした! こういった試合を 強豪の横浜、田園、横須賀とできたら、最終学年での優勝が見えてくると思います。

それには、ブレイクダウン(接点)でのボール争奪戦を五分に戦うのと、ディフェンスで最後まで切れずに守りきるタックルが必要です。横須賀Bに完敗した試合は、この2つが出来ませんでした。

最終学年の県大会まで、後、1年はありません。1つ1つの練習を大切に、今日より、明日、明日より、あさって、上手になること意識して、練習を積み重ねたら、必ずいい結果がでると思います。また1年頑張りましょう! 外岡も、できるだけ、新潟から帰ってきて、練習に参加します。

県大会でやったこと

5年 原田 康誠

僕は今年初めてキャプテンとして県大会にのぞんだ。

だから、キャプテンとしてチームの勝利に貢献したいと思った。しかし、僕にはすごいスピードがあったわけでもなく、絶対に相手をかませるようなステップがあったわけではなかった。

でも、運動量とタックルには自信があったから試合の最後まで相手を止め続けられるようにして影でチームの勝利に貢献しようと思った。

そして、第一試合にそれを目指して試合を行った。この試合はそれをやる事ができた。しかし第二試合はトライを入れられときに動けなくなり全く相手を止めることが出来なかった。そのときに武井コーチに「最初にしっかり止めれば相手は怖がって突っ込んで来なくなる」と言われた。そのことをやったら残りの試合を勝つことができた。その結果今年の県大会は準優勝になった。影でチームを支える事ができたと思う。

だから県大会でもしっかりと全試合に出場して、仲間を引っ張っていきたいです。そして、優勝したいと思います。

県大会を終えて

5年 石野 創太郎

今年の県大会では、トライを取ったりキックをけったりしたけど、これからはノックオンやパスミスとかなくして、ラインアウトとか小さいプレーもしっかりやっていきたいと思います。

県大会でよかった所

5年 卯月 快杜

県大会で良かった所は、オーバーに多く行けた所です。もう一つは、タックルに多く行けた所です。来年は、もっとオーバーやタックルに行きたいです。

県大会を終えて

5年 黒須 楓

僕が県大会で上手く出来たことは、クロスダミーの時に大きな声を出して相手をだませた事です。悪かったところは自分よりも大きな相手に手でタックルをしまった事です。なので来年は大きな相手にも胸で当たって倒して、すぐに起き上がってジャッカルが出来るように頑張りたいです。

県大会

5年 斎川 春朗

県大会、優勝はできなかったけど、3勝できてよかった。タックルは自分ではできたと思う。トライはできた。来年はファイナルカップがあるのでもっとがんばりたい

県大会を終えて

5年 佐々木 廉人

夏合宿の後、夏期講習などで練習に出られない日が続いてしまいました。それでも、試合で頑張れるチャンスをもらえましたが、ぼくはチャンスをいかせなかったことが残念です。

「タックルができない」とぼくが言うと、「できるできないじゃなくて、やるんだ!」とコーチから教えられたことがとても心にのこりました。

県大会 目指せ全勝 !

5年 佐藤 祐太郎

県大会よかったのは、ボックスのサインです。みんなが自分の場所を理解して動いていたので、よかったです。むずかしいサインもあったけど、ほとんどうまくいきました。ルーズボールへの対応もよかったです。ぼくの中ではトライが多く決まったと思います。来年は県大会全勝目指して、ファイナルカップも頑張りたいです。

リザーブ

5年 菅田 光真

僕は、去年より全然活やく出来なかったと思います。でも、四試合中三試合先発でできてうれしかったです。でも、最終戦はリザーブになりました。だけど疲れている時に入るから、活やくできると思い、僕は入る時に、ものすごくやる気を出して入りました。しかし、プレーには満足できず、もっとがんばれと自分では思いました。

僕がしたいプレーは、ラグビーワールドカップスコットランド戦の、五郎丸選手が、前半終了まぎわに、トライを取らせないために相手をタックルした時のプレーです。僕は、そのプレーはできませんでしたが、それでも僕は、目標を持ち続けたいと思いました。

県大会を終えて

5年 畑佐 健太郎

県大会では3勝できてよかったです。また前に負けた藤沢に勝ててうれしかったです。来年は優勝できるよう、声をしっかり出して、ボールをしっかりつないでトライできるよう、一生懸命練習したいと思います。

県大会のはんせい、かんそう

5年 土方 将嗣

ぼくが県大会でがんばったことは、右ラインのときに、左スクリューパースをうまく投げるように気をつけました。

はんせい点は、パスをする人じゃない人に、パスを出してしまったことです。

なぜなら、パスする人の声が聞こえていないところに、パスをしてしまったからです。

これからはもっと良く周りを見てパスを出していきたいです。

来年はトライにつながるパスやプレーをしたいです。そしてファイナルカップ、キャノンカップ、すべて優勝したいです。

ぼくは日本代表のSH、田中史郎選手があこがれです。田中選手のように外国でも活やくしたいです。それと頭をフル回転させて、相手の動きをすばやく、はあくして、チームを優勝にみちびけたらいいです。

(6年生になったらキャプテンになりたいです)



4年生



左から 川原稜平、小坂龍平、中原侑温、中野竜之介、大原琉来、河合真輝、野田航佑、
諸田章彦、小田部晃太、本間春輝、佐々木成己、児玉悠希、本田翔太郎、小中啄未

県大会を振り返って

4年チーフコーチ 大坪 功

目標としていた全勝優勝を成し遂げる事が出来ました。このような栄光と感動を与えてくれた生徒達に本当に感謝です！ただ、楽な展開はなく全試合ともヒヤヒヤドキドキの連続でした。立ち上がりが鈍く先制を許してしまう試合が多かった事はコーチとして反省すべき点です。

最後の横須賀戦は全勝優勝を掛けた大一番。今大会初めて14名全員が揃い、前後半の半分ずつ皆で戦い抜きギリギリ接戦をものにすることが出来ました。相手の猛追をはらいのけ逃げ切れた時の安堵と感動は今でも鮮明に覚えております。その後の仕上げのビールは美味しかった！

今まで前に出られなかった生徒もトライをとったり、タックルをきめたり、其々の試合を通し一皮も二皮もむけ、一歩前に踏み出し自信を付けてくれました。この底上げ出来た事が一番の収穫です。

【県大会結果】

- 56-10 川崎市 B
- 41-21 鎌倉 B
- 19-14 藤沢 A
- 40-35 横須賀市 B

来年5年生からは9人制になり、新たにポジション争いも始まります。新キャプテン、新バイスキャプテンも決めます。現4年生は気持ちが前面に出る子供が多く、その事が相乗効果となり非常に良い雰囲気練習が出来ております。週一回の貴重な練習、何よりラグビーを楽しんで貰えるようコーチ一同一緒に頑張りたいと考えております。

優勝とワールドカップ

4年コーチ 原田 泰一

ラグビー日本代表が南アフリカを撃破。ワールドカップ 3 勝 1 敗の戦績で文字通り歴史を創った2015年、我が麻生ラグビースクール4年生も4戦全勝優勝と歴史を創ってくれました。

実力と運が備わって初めて優勝出来るというお話が、打上でも交わされていました。しかしながら、何より皆の勝ちたいという強い気持ちがあったからこそ、なしえた優勝だったのではないのでしょうか。

今年は子供達同士で戦い方等について主体的にコミュニケーションも出来るようになったと感じます。コーチから見れば、あまり有効でないサインプレイ等も時にはありましたが、本人達はしっかりと楽しんでいました。

南アフリカ戦の最後のペナルティで日本代表キャプテンのリーチ・マイケル選手がキックではなくスクラムを選択した場面がありました。この瞬間、ジョーンズHCはベンチを蹴飛ばしキックを選択し同点を狙わなかった選手を罵ったそうです。ところが、その5分後・・・結果は皆さんのご存知の通りです

試合後、ジョーンズHCはリーチ選手の判断を『最高の選択』と称えました。おそらくグラウンドに立った15人全員が勝利を信じて疑わなかったのでしょう、ベンチの思いとは裏腹に・・・

10歳のリトルラグーマン達の『勝ちたい強い気持ち』『仲間同士のコミュニケーション』も大人の創造を超えた素晴らしいプレイを数々演出してくれました。

来年からは9人制となり、より考える力が求められます。試合が始まればグラウンドの中は子供達だけ、そこで自分自身で考え、選択し、行動できるような、そんなチームになるよう、今後も微力ながらお手伝いが出来ればと考えております

4年生のみんな優勝おめでとう、そしてありがとう！

4年 小田部 晃太

県大会で、優勝できて良かったです！だけど、試合ではギリギリで勝ったので、次の県大会では余裕をもって勝てるように、これからもっと一生懸命練習したいです。

今年の県大会

4年 河合 真輝

今年の県大会では、味方への声かけができた。来年への課題は、パスを回したり、スペースへの働きかけをしていきたい。優勝できて良かった。

4年 中野 竜之介

ぼくは県大会であまりトライができなかったけど、相手をちゃんと止めるタックルが少しできるようになりました。

でもまだセンターに目がいって抜かれる事があるので、全てできるようになって、足をひっぱらないようにしたいです。

4年 諸田 章彦

県大会は全勝優勝できてうれしかったです。指を骨折したけど最後の試合だったので4試合できてよかったです。

次も優勝したいのもっとタックルや声かけができるように練習をがんばります。

4年 本間 春輝

今年は優勝して、すごく嬉しかったです。去年は1回もトライをとっていなかったけど、今年は1回できたので来年はそれ以上にトライをとれるように練習を一生懸命やってまた来年も優勝できるように頑張ります。

県大会

4年 本田 翔太郎

今年は、優勝という大きな目標が達成できて本当に良かったと思う。チームワークとみんなの勝ちたいと思う気持ちが勝ったのだと思う。

僕は来年に向けて、タックルを頑張りたいと思います。

県大会を振り返って

4年 小坂 龍平

ぼくは今回の県大会でトライを決められなかったことと、オーバーの時に高く当たりすぎていつも相手ボールになってしまったので、5年の県大会ではできるようになりたいです。

良かったことは優勝したことと、最後の試合では14人全員揃ったので、全員で前半後半に別れて試合に出て勝てたので良かったです。

これからはオーバー、タックルを低くできるように練習していきたいです。

4年 大原 琉来

ぎりぎり勝てた試合もあったけど、みんなで力を合わせたからこそここまで勝ち進めたと思います。優勝できてよかったです。また来年も優勝したいです。

4年 児玉 悠希

県大会は優勝できてよかったです。しかしそれはチームのみんなのおかげで、自分はあまり貢献出来なかったため、次の試合ではもう少しチームに貢献できるようにして、いて良かったなと思われるくらいになりたいです。

4年 佐々木 成己

合宿で練習したタックルが何回も成功したのが良かった。

去年は優勝できなくてくやしかったけど今年は優勝できてよかった。

これからはもっとパスをまわしてトライをとれるようにがんばって練習したい。

4年 中原 侑温

みんなチームプレーができてよかった。キャプテンとして声を出すことができた。SHだからCTの琉来に早くループをすることができた。タックルで相手を止める事ができた。来年も優勝したい。

4年 野田 航佑

県大会では、ウイングとしてトライはできなかったけど、タックルでチームに貢献できてよかったです。

来年はトライも取れてタックルも出来る強いプレイヤーになりたいです。

4年 中野 竜之介の父

ワールドカップの盛り上がりによって、子供達の士気が高まっているのが非常に微笑ましく、また頼もしく思います。これを機にもっともっと竜之介がラグビーを好きになってくれると嬉しいです。

4年 本田 翔太郎の母

今年ワールドカップも開催され、日本の選手達の活躍で、どのチームの子供達も士気が高まり、どの試合も素晴らしかったと思いました。

来年も優勝に向けて、皆のサポート頑張りたいと思います。

4年 小田部 晃太の母

来年も全勝目指して、みんなで力を合わせて頑張っ欲しいと思います！

4年 児玉 悠希の父

子供たちの頑張りにとても感動しました。

4年 児玉 悠希の母

チームスポーツは素晴らしいものだと、子供たちの頑張る姿を見て改めて思いました。

3年生



県大会最終戦 雨天の中 全勝優勝を決めて

後列左から さとうたくみ・うしやまそうし・さかわきゆう・あらきしゅうま・つちやゆうすけ
前列左から おざきじょうたろう・ひかさあつと・かたおかゆうき・なかむらかずき・わたなべしゅうや

3年生 初めての県大会

3年チーフコーチ 小山田 俊広

新年度当初は7人制に代わったのでポジションを決めはしたものの、これで本当にやっていけるのかと不安を抱いていました。しかし、夏合宿でそれらしくなり9月に入るとだんだんみんなが自分の役割を理解して練習に取り組んでくれるようになってきていたと思います。(本当にそこまで出来ていたのかはともかく私はそう思いたい。)

初めての県大会。集合時間より早めに会場に到着すると、いきなり外周を走る子供もいて、エンジン全開状態の子供たち。しかし、子供たちに比べ自分の方は緊張してドキドキしていた。

9月27日ギオンフィールドでの初戦VS相模原RS A 一時逆転されるも36-20で初戦勝利。

10月18日建志台グラウンドで第2戦VSグリーンRS B 終了間際に再逆転トライ、29-26で何とか勝利。

11月3日大和ゆとりの森グラウンドで第3戦VS鎌倉RS A ラスト1プレーで逆転トライ、34-28で勝利。

11月8日池子の森グラウンドで雨の中最終戦VS逗子葉山RS 73-7で快勝。

泥んこになりながらも全勝優勝を決めた。3年生諸君、おめでとう。そして、ありがとう。振り返ると、最終戦以外はすべて先制するものの、途中で逆転され最後に何とか勝利をつかむの連続。勝つことがすべてではないといいますが、勝つことによってチームが一丸となり「何としても勝つ」という良い意味でのモチベーションが生まれたのかなと思います。

しかし、全勝したとはいえまだまだ足りないことだらけです。来年からは、他のチームの目標とされるような、形を作ればと思います。

保護者の皆さん。皆さんの声援が子供たちの後押しとなって最後まであきらめずに戦えたと思います。子供たちの応援ありがとうございました。

県大会が終わって

3年 渡邊 柊也

県大会は、優勝できて本当に嬉しかったです。でも、あんまり出場できなかったのが、今度は、もっと出られるようになって、活躍できるようになりたいと思います。

はじめてのけん大会

3年 日笠 温斗

けん大会でゆうしょうできて、とてもうれしかったです。

ぼくは、パスをできるだけ早く出すようにがんばったけど、まだまだ早くできると思うので、もっとれんしゅうをがんばって早く出せるようになりたいです。

ハーフがすきなので、ずっとハーフができるようにがんばりたいです。

県大会を終えて

3年 増田 悠真

試合には、あまりでてないけど、優勝はうれしいです。タックルの練習をがんばって、次の大会はもう少しかつやくできるようにしたいです。

はじめてのけん大会

3年 中川 るか

僕は、県大会で4勝できて、うれしいです。僕は試合の最後に出て、タックルをがんばりました。みんな、すごくがんばっていたと思います。僕はこれからも、パス、タックルの練習をがんばります！また、来年も勝ちたいです。

県大会を終えて

3年 片岡 祐貴

県大会に優勝したのは良かったのですが、ちょっと足りないところがありました。それは、落ちてるボールを拾うとか、オーバーに早く行くことが少しできなかったです。

県大会 せつさたくまで ゆう勝だ

3年 牛山 颯士

県大会でのトライは、みんなのおかげだと思います。

ぎやく点で試合に勝った時の気持ちは、とてもうれしかったです。

優勝

3年 坂脇 優心

ぼくは県大会で優勝するなんて思いませんでした。県大会で優勝できたので、ものすごくラグビーが楽しくなりました。一、二年生のころは決まった人がトライをしていたけれど、三年生になってチームのみんながトライをとりに行くようになったと思います。県大会でチームのみんなが一つになれたことを、心から感じます。ぼくはこのメンバーだからこそ、とれた優勝だと思います。

はじめてのけん大会3年

3年 土屋 裕資

ぼくは一位をとれてすごうれしかったです。四年生の県大会でも一位をめざして、だれよりも強いタックルができるようにトレーニングこれからもがんばります。

県大会を終わって

3年 荒木 鷺摩

県大会は優勝できて嬉しかったです。それから、自分の目標も達成できて嬉しかったです。その目標というのは、威力の強いタックルをするということです。夏合宿からチームワークができるようになって、みんなが成長したと思います。今は、神奈川県3年のチームには負ける気がしません。

2年生



2015. 11. 29 大和RS&グリーンRS @稲城G

2015年秋

2年チーフコーチ 河合 淳一

今年は、夏から秋にかけての他スクールとの交流試合が雨で中止になり、子供たちにとっては物足りない時期となってしまいました。

その間、RWCでの日本の活躍のお陰で、10月25日と11月15日に開催した体験会には20名を越える子供たちに参加いただき、2年生も新しい仲間が2名増え、14人になりました。この仲間たちとこれから様々な経験をし、益々ラグビーを好きになってもらいたいと強く感じています。

私も指導者として、もっと勉強します！

コーチも勉強

2年コーチ 杉浦 輝明

プレーだけでなく、ラグビースピリットもいかに子供たちと共有できるか…

コンタクトスポーツだからこそその楽しみや難しさ、連帯感そしてリスク…

それらを全てひっくるめてココロとカラダでラグビーを上手く理解してもらえるように、好きになってもらえるように、コーチとしても親としてももっと忍耐強く、勉強しなければ。

君もまだまだだねえ、息子を含め子供たちにいつも教えられます。

2年生の対外試合 集大成

2年コーチ 千秋 杉雄

11月29日の大和RS戦・グリーンRS戦が自身、親コーチとして臨む最終戦となりました。ひとりも欠けることなくフルメンバー15名（体験常連1名含む）が試合に出場する事が出来、試合の挨拶で相手よりも麻生の列が長い！ 最後にして初めて見る光景でした（笑）。手強い相手に怯むことなく、とても良い試合内容で、みんな各々のレベルで上手くなっていました。

新年度からは、この学年の子供たちに対しては、コーチからイチ保護者に戻ります。子供たちにこれまでの御礼の意味も込めて、ちょっと長くなり恐縮ですが、ひとりひとりにコメントします。

【2年生】（12月時点で14名+体験者） ※入校順

- ① りょうま・・・恵まれたサイズで攻守共に頼れる大黒柱。タックルも上手く、ハイレベルなオールラウンダーです。チームの中心として、今後は経験の浅い子達を引き上げる為のフォロー・目配りも頼んだぞ！
- ② りょう・・・初代キャプテンとして文字通りチームリーダーでした。チームが苦しい時に何度もトライで勝利に貢献してくれました。センス抜群のアタッカーです。今後は、独走は難しくなってくるので仲間と一緒に2対1の局面を作る事を意識するといいよ。
- ③ はやと・・・チーム1小さいけど、とにかく仕事量が豊富。あと、ちっちゃな身体をピンと伸ばしたダウンボールが上手く、持ち込んだボールは繋いで必ず活かしていました。今後はスクラムハーフとしての動き・捌き方を勉強するといいよ。
- ④ あおい・・・女の子だけど、それがハンディにならないくらい相手に立ち向かっていく姿勢が素晴らしいかったです。痛い思いをしても逃げなかった。見ていて周りが自然と応援したくなるタイプですね。今後はステップで相手をおかわす動きも身につけるといいかな。
- ⑤ そうすけ・・・眠れる大器がようやく最後の最後で覚醒した印象ですね。スイッチが入るのを今や遅しと待っていました。練習の合間の相撲で不動の横綱でしたが、ラグビーに活かされる日がついに来ました！今後はディフェンス力を身につければ鬼に金棒。
- ⑥ ぜんたろう・・・モールでよくボールに絡んでいました。声が出ない子供たちが多い中、「俺が（ボールを）持ってるぞ！」と大声で仲間に伝えている姿が印象的です。今後はチームがしんどい時にも周りを鼓舞する声かけを頼むぞ！
- ⑦ けいすけ・・・ポテンシャルからすると未だ半分も出ていないですね。歯がゆいというかもったいない。気持ちが優しいのかな。ちょっと試合中も遠慮しているように見えます。今後は恵まれた身体の活かし方・使い方を覚えると間違いなく大化けします。
- ⑧ しょう・・・ラグビー理解力NO. 1 よく知っていますね。大人のプレーを観る機会が多いからか、特にブレイクダウンでの働きは秀逸です。（血筋ですね、きっと。） フォワードもバックスも出来るオールラウンダー。教えなくても勝手に上達していくタイプ（笑）。
- ⑨ そうや・・・ペナルティから速攻で仕掛けるプレーが板に付いてきました。計算出来るトライで武器になったね！ また、トップスピードでボールを受ける動きはチームNO. 1 今後はステ

ップとスピードの緩急を覚えれば相手に触られる事なくトライ取り切れるようになれるよ！

- ⑩ きょうすけ・・・未だ入校して日が浅いですが、バランスの良い恵まれた身体が何よりの財産ですね。コンタクト有りの空手との両立からも心身ともに強い事が判ります。ラグビーの動きをこれから学んでいけば、ポテンシャルは無量大。
- ⑪ あかし・・・にくめないキャラでムードメーカーですね。前向きな取り組み姿勢もイイです。ひとつひとつマイペースで習得していけば必ず、グッと成長曲線が跳ね上がる時が来ます。あかしの初トライはお預けだったので、来年に期待！
- ⑫ まさと・・・初トライおめでとう！ガッシリした、いかにもラグビー体型なので（褒めてます）、自信を持って相手に立ち向かうと、もっともっと面白くなってくるよ。お兄ちゃんという身近な目標もいるので兄弟で切磋琢磨して練習に励むべし。弟は上達が早い！
- ⑬ だいち・・・入校して未だ限りなく日が浅いですが、早くも片鱗が見え始めています。激しいコンタクトから逃げない姿勢が凄いですね。体格にも恵まれていて、気質もたぶんラグビー向き。（血筋ですね。）上達も早そうです。体験の時から感心して見ていました。
- ⑭ わかな・・・女の子だし、ガツガツするだけがラグビーではないので、相手にぶつからないプレーを志向してもいいと思うよ。あおいとちょっとタイプが違う。そうやを目標にするといいかも。未だ入校したばかりなので覚える事いっぱいだけど、焦らずじっくり。まずはラグビー、好きになって。
- ⑮ かいと・・・走力もあるし、楽しみな存在です。まだラグビーのルールはもちろん、動き方が判らないと思うので、戸惑う事ばかりだと想像しているけれど、判らない事はコーチや他の仲間に遠慮なく聞いてみてね。みんなで上手くなるよう！

こうりゅうせん

2年 福岡 遼

こうりゅうせんはとても楽しかったです。
でも大和RSに負けてしまいました。相手のディフェンスが強かったからだと思います。
次はみんなで指示を出し合いぜったいに勝ちたいです。

ラグビー

2年 河合 遼真

さいきんはタックルができるようになりもっと楽しくなった。試合たくさんして勝ちたい。

ラグビーを好きになる

2年 杉浦 圭祐

僕はラグビーを始めてもうすぐで2年になるけど、あんまりラグビーが好きではありません。
トライやタックルやパスができた時は嬉しいので、これから少しでも好きになりたいです。
みんなとのパスは楽しいです。

交流戦

2年 黒須 樟

パスをつなげるのが じょうずにできたけど タックルもっとできるようにがんばりたい。

交流試合は緊張する

2年 円能寺 証思

ぼくは、6月にスクールに入りました。交流試合にも何度かできました。
初めて会う同じ2年生の子と試合するときには少し緊張します。
でも人がたくさんいると少しワクワクします。
みんなに負けないようにラグビーをがんばります。

しあい

2年 すげた あおい

やまとと、しあいをしてたのしかったです。
すぐくつよかったので、タックルとかしにくかったです。
こんどしあいをするときは、れんしゅうをたくさんしてトライやタックルをたくさんしたいです。

次は勝つ！

2年 毛利 そうや

タックルを上手になって、負けたチームにみんなで力を合わせて勝ちたいです！

大和RS戦

2年 千秋 勇都

大和RSはいつも強い。ニガテだった。今日はトライ出来たし良かった。もう大丈夫。
ただ3-0から追いつかれちゃって残念。次はスッキリ勝つ！

楽しんで！

2年 毛利 そうやの父

友達と一緒にラグビーを思う存分楽しんでください！

交流試合を振り返って

1年チーフコーチ 吉田 大輔

交流試合ではご父兄の皆様の熱い応援ありがとうございました。勝ち負けは別として、子供達は一生懸命がんばってくれました。特に少しずつですが前に出るディフェンスが出来る様になってくれた事、またボールを繋ぐ意識が出てきた事が私としましては一番嬉しく思っております。

まだ1年生ですから子供達の気持ちのムラが大きく、出来たり出来なかったりしますが、今後も粘り強く練習して行きたいと思っております。またご父兄の皆様のご協力のおかげで、この1年でかなりお友達が増えました。まだ入校したばかりで、何もわからず試合に出て頑張っている子供達もたくさんいたと思いますが、子供の良いところ（プレー）を引き出せる様に努力したいと思っております。まわりの子供達と比較して出来ない事が多いのは当然ですので、決して出来ない事を指摘するのではなく、出来た事を何でもいいので、必ず褒めてあげてください。ちょっとした自信を持つことで、大きく変わりますので。

最後にご父兄の皆様には日頃よりスクール運営にご協力いただきありがとうございます。今後とも宜しく願いいたします。

僕が感じたこと

1年 吉田 悠真

試合でトライが出来て嬉しかった。
タックルも出来るようになりたい。
お友達が増えて楽しかった。
これからもよろしくお願いします。

僕のラグビーへの思い

1年 羽田 航太郎

僕は、いままでボールを持っても考えているうちに人が集まってしまう、なかなか前に進めないの
でパスをしてばかりいました。でも、タッチラグビーの体験に参加したり、ワールドカップの試合を
テレビで何度もみたり、府中の練習グラウンドで東芝やサントリーの練習試合をみたり、秩父宮で試
合をいっぱいみて、選手の真似をしてみようと思いました。

味方と敵のスペースをつねに意識するようになったら、試合でトライやタックルができるようになって、
最近ラグビーが楽しくなってきました。これからも練習を頑張って試合に勝ちたいです。

県大会結果

| | | 9月27日 | 10月4日 | 10月18日 | 11月3日 |
|-------------|----------|-----------|-----------|-------------|-----------|
| Aブロック 順位 | 勝敗 4位 | 横浜A 優勝 | 海老名 5位 | 横須賀市A 2位 | 藤沢A 3位 |
| 6年 | 1-3 | 0●84 | 50○45 | 17●56 | 19●28 |

| | | 9月27日 | 10月12日 | 10月18日 | 11月8日 |
|-------------|----------|-----------|-------------|-----------|-----------|
| Cブロック 順位 | 勝敗 2位 | 川崎市 3位 | 横須賀市B 優勝 | 藤沢B 4位 | 鎌倉B 5位 |
| 5年 | 3-1 | 64○0 | 0●77 | 33○7 | 68○0 |



| | | 10月18日 | 11月3日 | 11月8日 | 11月15日 |
|-------------|----------|------------|-----------|-----------|-------------|
| Cブロック 順位 | 勝敗 優勝 | 川崎市B 4位 | 鎌倉B 4位 | 藤沢A 2位 | 横須賀市B 2位 |
| 4年 | 4-0 | 56○10 | 41○21 | 19○14 | 40○35 |



| | | 9月27日 | 10月18日 | 11月3日 | 11月8日 |
|-------------|----------|------------|-------------|-----------|------------|
| Bブロック 順位 | 勝敗 優勝 | 相模原A 2位 | グリーンB 4位 | 鎌倉A 3位 | 逗子葉山 5位 |
| 3年 | 4-0 | 36○20 | 29○26 | 34○28 | 73○7 |

交流大会結果

【ミニラグビー秋季交流大会】

月日：9月20日(日)
場所：三菱重工相模原グラウンド

[3年生]

麻生 ●15 - 45○ 田園B
麻生 ●30 - 40○ 海老名

[4年生]

麻生 ○60 - 0● 海老名
麻生 ○30 - 25● 田園ABC

【ミルキー(幼稚園)秋季交流大会】

月日：9月21日(月祝)
場所：海老名 中野グラウンド

[幼稚園]

参加人数不足により出場辞退

【平成27年度多摩市市民大会】

月日：9月23日(水祝)
場所：多摩市陸上競技場
参加：麻生RS、多摩RS、ラグビー塾

[幼稚園]

麻生 ●10 - 35○ 多摩
麻生 ○15 - 10● 多摩
麻生 ●5 - 40○ 多摩

[1年生]

麻生A ●10 - 20○ 多摩A
麻生B ●15 - 20○ 多摩B
麻生C ○30 - 5● 多摩A
麻生A ○35 - 0● 麻生B
麻生C ○15 - 10● 多摩B

[2年生]

麻生A ○40 - 0● 多摩
麻生B ○35 - 15● 多摩
麻生A ○35 - 25● 麻生B
麻生AB ○50 - 5● 多摩

[3年生]

麻生 ●15 - 25○ 多摩
麻生 ●5 - 15○ 多摩
麻生 ○30 - 0● ラグビー塾
(8分×1本のみ)

[4年生]

麻生 ○55 - 0● ラグビー塾
麻生 ○50 - 5● 多摩
麻生 ○45 - 0● 多摩

[5年生]

麻生 ●5 - 10○ 多摩
麻生 ○35 - 5● 多摩
麻生 ○20 - 0● ラグビー塾
(8分×1本のみ)

[6年生]

麻生 ○45 - 5● ラグビー塾
麻生 ●25 - 30○ 多摩
麻生 ○10 - 5● 多摩

[コーチ]

麻生 ●15 - 30○ 多摩

【ミルキー(1~2年生)秋季交流大会】

月日：10月11日(日)
場所：海老名 中野グラウンド

[1年生]

雨天中止

[2年生]

雨天中止

【川崎市RS交流戦】

月日：11月8日(日) 9:00~12:00
場所：日大稲城G

[1年生]

雨天中止

[2年生]

雨天中止

【秋季大学試合 前座試合】

月日：11月14日(土) 12:00~
場所：ニッパツ三ツ沢球技場

[2年生]

雨天中止

【ミニラグビー秋季交流大会】

月日：11月14日(土)
場所：三菱重工相模原グラウンド

[5年生]

麻生 ●0 - 70○ 田園B
麻生 ●0 - 65○ 田園A

[6年生]

麻生 ○70 - 25● 相模原A
麻生 ●0 - 60○ 田園B

編集後記

今年は県大会期間中にラグビーワールドカップが開催され、ラグビーが世間で急に注目されるスポーツになりました。県大会で一生懸命プレーした子供たちの中から、将来の日本代表選手が出てくれることを期待したいです(さすがに今の DAGS、麻生の子供達は2019年大会には間に合いませんが・・・)。

麻生リトルラグーマン NO. 106

発行日／平成 27 年 12 月 13 日

発行者／三浦 幸宏(042-338-7536)

編集長／野田卓人(044-281-9788):E-メールアドレス tactn@me.com

副編集長／小松正巳

編集委員／渡部真久・外岡幸隆・京屋宜正・大原広生・千秋杉雄・室井秀夫・曾我浩

表紙題字:元全日本監督 日比野弘氏 ホームページ <http://asaors.com/>